

# ニュース さよなら原発 第66号 2018.7.5発行



さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775

ホームページ：<http://sayonaragenpatu.wixsite.com/mysite>

## 東海第二原発 再稼働反対決議 広がる

日本原電は東海第二原発について、7月4日に原子力規制委員会の新基準「適合(案)」を受け、再稼働へ全力をあげています。一方、水戸市議会は6月に再稼働反対を決議。県内44市町村(下図)では、反対の議会が圧倒的で、国・原電と地元の思いがぶつかり合っています。

反対を決議した議会 28 

反対の趣旨採択議会 5 

趣旨採択とは・・・

議会として請願を採択できないが、  
請願趣旨には賛同という決定

反対の市長村長 8人

高萩市、大子町、潮来市  
北茨城市、つくば市、小美玉市、  
美浦村、石岡市

(下線は脱原発首長会議会員)



古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！  
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。  
子どもたちに、安全な未来を  
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。



ひたちなか市議会は、総務生活委員会（議員8名）で、5月に出了た再稼働反対を求める請願・陳情4件を継続審査中です。総務生活委員会の議員さん！よろしくお願ひします。

○三瓶 武、雨澤 正、所 茂樹、岩本尚之、宇田貴子、薄井宏安、打越 浩、井坂 章の皆さん（敬称略）

ひたちなか市の

東海第二原発への

# 声 声

皆さんの声・つばき  
お寄せ下さい。

TEL/FAX:029-273-4775

## 夏に古希を迎えるという女性（足崎）

会員：（汗だくで）東海第二をなくそうと訴えたピラです。市内で、みんなで協力し1万枚配っています。

女性：いつも、よく読んでいます。本当に原発はダメです。核のゴミを増やし子孫に負担をかけることはやめるべきよ。

会員：11月までに許可が下りないと東海第二が廃炉になってしまうので、原電は必至です。原電の和智常務が5月11日に「運転することで社会に貢献したい」と再稼働を表明しました。再稼働を阻止できるか許してしまうのか、今後、数か月が勝負です。

女性：みんな声を上げるべきよ。上の人に意見を避けているばかりではダメ。各人がこの地域の将来のことを自覚して声を出すべきよ。

（別れるとき頂いた冷水ボトルの美味かったこと）

## 放射線測定ボランティア

正治さんが、測ってみると？



2018 7/4(水) ひたちなか市平磯町 平磯中学校グラウンド「南門」から南方約11mのところにある斜面と道路との境界、高さ1mで測定しました。ここは2016年4月10日のときは0.75 μSv/h（本紙43号で報告）でした。この斜面全体が高い放射線のためなのか、すぐ脇の道路の中央でも高さ1mで0.39 μSv/hあります。因みに「南門」の前では高さ1mで0.16 μSv/hでした。前2ヶ所よりは低いものの、福島原発事故以前の数倍の高さとなっています。

## 講演会

8月18日(土) 14時~16時 講演  
ワークプラザ勝田 多目的ホール (13時30分開場)

## 武藤類子さんが語る 福島から、あなたへ

豊かだった福島の人々の暮らしをとつぜん原発事故が奪った。  
その過酷な実態。そして今…。  
映像を交えて語りかけます。

参加費 500円 (保育あり)

お問合せ：荻 (080-5496-6261)  
佐藤 (090-5410-1336)



## プロフィール

福島県生まれ。養護学校教員20年を経て、2003年にソーラーシステムを手造りし、里山喫茶「きらら」をはじめ。しかし、福島原発事故で廃業に追いやられた。2012年より東電の原発事故責任を問うフクシマ原発訴訟団の団長。

主催  
武藤類子さん講演会実行委員会